

## news release

**マニユライフ生命、  
「愛・地球博」カナダ館協賛記念行事 難病と闘うカナダの少年を  
親善大使として愛知万博に招待  
日本の小児病院の子ども達との交流を実現**

開催中の愛知万博カナダ館に協賛しているマニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼 CEO ジェフ・クリックメイ)は、カナダのノヴァ・スコシア州ハリファックス市の小児病院 IWK 保健センターの患者代表、ジャスティン・アシュトン君(17)を親善大使として日本に招待し、5日、6日に日本の小児病院の子ども達との交流合同万博ツアーに招待しました。

同社はカナダを本拠地とし、カナダ館に協賛していることを記念して今回の企画を催したものです。今回の企画にあたっては、女性・子供の疾患/病気や、心のケア等への積極的な取り組みにより、世界でも有数の評価を得ている IWK 保健センターのご賛同を頂き、ジャスティン君の来日が実現しました。ジャスティン君は6歳の時に、腸に潰瘍ができるクローン病を発症し、以来10年間にわたって12回以上の手術に耐えつつ、明るく将来の夢を持って、しっかりと人生を歩んでいます。ジャスティン君は初めてとなる今回の来日を心待ちにしていました。

ジャスティン君は、愛知万博カナダ・デイの4月5日(火)、カナダ館前で、あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市、センター長 長嶋 正實)で治療を受けている小児患者様10人の子どもたちとご家族と対面し、カナダ館と一緒に見学したり、記念写真を撮影したり(写真1)と交流を深めました。最初のうちこそお互いに少し緊張し硬くなりがちな雰囲気でしたが、ジャスティン君が日本の子どもたち一人一人にネームプレートを手渡したり、話しながら見学をするうちにすっかりうち解け、身振り手振りを交えた楽しい会話が続きました。



写真 1

4月6日(水)にジャスティン君はお父さんのブライアンさんとともに、愛知万博会場内のグロウイングヴィレッジ・プロデューサーのジョン・ギャスライトさん(42)の指導の元で、ツリークライミングに初挑戦しました。ジョンさんがカナダ出身という縁もあって、初挑戦ながらすっかりリラックスしたムード。ジャスティン君は、初めての経験に慎重な動作で、ロープを上手に使って上へ上へと7メートルの高さまで登りつめました(写真2、3)。下りる時も難なく下りることができ、「簡単ではなかったけど、おもしろかった。木から元気をいっぱいもらった。」と明るく話していました。



写真2



写真3

6日の午後には、ジャスティン君はあいち小児保健医療総合センターを訪問。マニユライフ生命が子どもたちの療養環境改善のために特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)と共催した「マニユライフ折り鶴寄付金キャンペーン」(1)記念セレモニーに参加しました。

セレモニーには、ロバート・ライト駐日カナダ大使ご夫妻も出席、挨拶に続き大使自ら、子ども達に記念品を配る微笑ましい場面もありました。セレモニー後半には、カナダ人フォーク歌手ジェレミー・フィッシャーならびにバイオリン奏者ジャネール・デュピュエもボランティア参加し、日本とカナダの子どもたちを前にそれぞれ力のこもった生演奏を披露し(写真4)会場の雰囲気を盛り上げました。



写真4

続いて「マニユライフ折り鶴寄付金キャンペーン」を記念してジャスティン君とこのセンターで治療を受けている子どもたちとジャネール、ジェレミーの2人のミュージシャンが90cm四方の折り紙を使って一緒に大きな鶴を折り、「マニユライフ折り鶴寄付金キャンペーン」の記念すべき折り鶴第一号として、ジェフ・クリックメイ社長に贈りました(写真5)。ジャスティン君と日本の子ども達は2日間の日程の中で、すっかり硬さもとれ、セレモニーの後はIWK保健センターの子ども達の記念としてジャスティン君に託された剣玉や駒など日本特有のおもちゃや折り紙の遊び方を教わったり、遊んだり(写真6)楽しいひとときを過ごしました。



写真 5



写真 6

マニユライフ生命は、日本社会の良き企業市民として、今後も社会への貢献と日本、カナダ、世界との交流促進、次世代を担う青少年の育成につながる活動等を支援いたします。

1...マニユライフ生命の全国営業網を通じて、活動趣旨への共感のシンボルとしてお客様に折り鶴作成を呼びかけるとともに、同社職員には自主的な寄付を募るものです。マニユライフ生命は、会社としてもキャンペーンの折り鶴の数に応じた寄付を行い、職員による寄付と合算して「子ども健康フォーラム」に対して寄贈されます。

### マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています（2005年3月現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2004年12月31日現在3,480億カナダドル（2,890億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（[www.manulife.com](http://www.manulife.com)）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（[www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp)）